



2025年度  
裾野市立  
シン・東小学校  
グランドデザイン



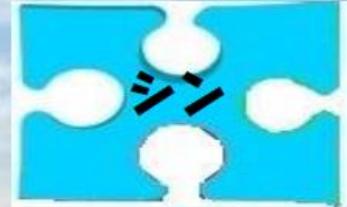
相手の気持ちを  
理解しようと  
する人



みんな仲間



つなぐ  
つながる



自分ができる  
シンをやる



### 「創ろう！シン・東小」に込めた思い

→公式には、校名は「東小」である。しかし、子どもたちや職員、保護者、地域の方々には、東小と向田小の2つの学校が1つになり、**新しい学校を創っていく**気持ちになってほしいという願いを込めて、あえて校名を「シン・東小」と表記した。

### みんな仲間(学校経営目標)とは？

→学校経営目標とは、どんな学校を作りたいかということ。「みんな仲間」の「みんな」とは、子ども、職員、保護者、地域住民のことである。「仲間」とは、**助け合える、自分の意見を聴いてくれる、折り合えるチーム**(学校)のこと。

### 相手の気持ちを理解しようとする人(学校教育目標)とは？

→相手理解、相互理解も、今まで取り組んできたことではあるが、2つの学校が1つになる初年度は、その意識をさらに高めていく必要があると考え、学校教育目標に据えた。2つの学校は、それぞれの教育理念に基づいて子どもたちを育成してきた。子どもたちや職員の幸福を願い、取り組んできた方法は、両校で違いがあっても当然だ。その**異なる文化が融合する**とき、多少の違和感を覚えるかもしれない。そのような時、**お互いの考えを認め合う集団**であってほしいと願う。相手の気持ちを理解しようとする子どもたちに呼びかけても、抽象的でわかりにくいかもしれない。そのような時は、**「相手の意見を聴く、相手の立場を考える、親切にする、感謝する」**などの心を持つことが、相手の気持ちを理解することにつながると声掛けをしていきたい。

また、「**相手の意見を聴く**」は、「聞く」ではなく「**聴く**」であることを教師自身も意識し、子どもに意識させたい。「聴く」は「**聴す(ゆるす)**」とも読む。「聴す」とは、**相手を受け入れた状態で聴く**こと。

### 自分ができるシンとは？

→あえて「シン」と片仮名表記としたのは、当てはまるシンは1つではないからだ。それを子どもたち一人一人が考えて、自分ができる「シン」に取り組んでほしい。「**進んで挨拶**」「**真剣に掃除**」「**人に親切**」など、いろいろなシンがある。

なお、「**新しい学校作り＝今までにない新しい事に取り組む**」ではない。例えば、挨拶にしても掃除にしても、シン・東小となる前から取り組んできた活動である。しかし、今まで取り組んできた活動でも、さらに磨きをかけ、定着していけば、やがてそれは「**校風**」となる。「**進んで挨拶ができる進東小**」「**真剣に掃除に取り組んでいる真東小**」などと、いろいろな「シン・東小」を子どもたち自身で作ってほしい。「**私にとってのシン東小は、〇〇する学校です**」と子どもたち一人一人が言えたら最高です。